



▲子どもの健やかな成長を願われる「赤ちゃん土俵入り」



▲寒さも吹き飛ばす好取組をみせる子どもたち

立神相撲

立神地区に伝わる正月の伝統行事「立神相撲」が1月3日、駒場公園相撲場で行われました。小・中学生や一般から約100人が出場し、公民館対抗による団体戦や青年大関を決める十六番勝負、つきたての紅白餅の振る舞いなどがありました。

各部門での優勝者・団体は右記のとおりです。

【団体戦】

小学生＝大堀A、中学生＝混成、高校生・一般＝田中

【小学生個人戦】

1年生＝下野大芽(大塚)、2年生＝内山凛人(塩屋)、3年生＝馬場亮輔(下野原・牧園)、4年生＝庭月野敬太(大塚)、5年生＝井上煌太(田中・田畑)、6年生＝中原翼(大堀)

【中学生個人戦】

田畑健太(塩屋)

【十六番勝負】春園顕清(田中) ※「4代目立神岩」を襲名



②



③



④

①分列行進 ②救助訓練 ③一斉放水披露 ④表彰式



①

消防出初式

消防出初式が1月6日、塩浜公園運動場などで行われ、消防署員や消防団員、幼年消防クラブなど約350人が参加しました。

式は、火の神乙女太鼓 爽によるオープニング演奏に始まり、分列行進や防災ヘリによる救助訓練、消防車両と小型ポンプによる花渡川への一斉放水などが行われ、日ごろの訓練の成果を披露しました。市中パレードでは、りりしく行進する姿に、沿道の市民から大きな拍手が送られていました。その後、市民会館では、日本消防協会など各団体等から贈られた表彰の伝達式が行われました。

2019

新春行事

Photo Snap



火の神太鼓保存会初打ち会

火の神太鼓保存会による初打ち会が初日の出とともに行われました。この初打ち会は、平成9年から行われており、毎年多くの観客が訪れる恒例行事になっています。



ハマテゴ



転がるダイダイに矢を放ち、悪魔ばらいをすることで1年間の無病息災を願う子どもの正月行事「ハマテゴ」が1月2日、小江平公民館で行われました。緋の着物を身にまとった子どもたちは、大人たちが手作りした竹製の弓矢を使い、転がるダイダイに狙いを定めて次々と矢を放ちました。

子どもたちは、ダイダイと一回り大きいボンタンに次々と命中させ、ダイダイとボンタンが刺さった矢を高々と掲げ「テゴテゴ」と元気に勝どきを上げていました。



【十日蛭子祭】

1年の豊漁と航海の安全を祈願する十日蛭子祭が1月10日、台場公園にある蛭子神社で行われました。色とりどりの奉納旗が立つ中、多くの漁業関係者が出席し、厳かな雰囲気の中で神事が行われました。



【カツオの初セリ】

鯨節の原料となる冷凍カツオの初セリが1月4日の早朝、枕崎漁港で行われました。セリが始まると、会場では威勢のいいかけ声とともに、入札札が飛び交っていました。